

Bユニット

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	8	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	1	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	これまで生きてこられた生活を尊重し、これからも地域の中に溶け込んで生活されるよう見守り寄り添う理念を、職員全員で話し合い作りあげた。	0	
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の申し送り前に、出勤した職員全体で理念を唱和し、意識付けている。又、理念に基づきケアプランをたて実践している。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	玄関に理念を掲示し、家族には毎月のめぐみ便りで、又、地域や市役所には、理念を掲載しためぐみホーム便りを配布している。	1	家族会、運営推進会議でも理解してもらえる様に更に努力する。
			2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3	
		2	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣の老健の人との挨拶や行き来はある。施設外の付き合いは少ないが、利用者とお話相手にボランティアさんが気軽に立ち寄られる。又、今年度より、近隣の保育園児の慰問も定期的を開始した。	1
		5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隣接する老健との合同行事（あじさい祭り）時には、地域の人にも参加してもらい、地域の人々によるフリーマーケット・食事店・演芸等で交流している。又、毎年初詣に地域の神社に参拝し、御神酒を頂いたり、縁起物の笹飾りを頂いている。	1	老健合同の作品展（ほのぼの展）への出品、東風小学校での文化祭への作品出品等、地元の行事にこれからもどんどん参加したい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 域 と い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域高齢者への支援は現在行っていない。	1	運営推進会議等で、常に相談しているが、今のところない。グループホームとして役立つ事があれば、貢献していきたい。
	3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)		自己評価5項目・外部評価4項目	2	
	3 理 念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を活かして、地域に密着した理念に作り変えた。改善すべき点は介護会議で話合っている。自己評価する事により、地域や利用者には何が必要なのか考え話し合う事が出来る。	1	改善シートを作成し、改善を行っている。会議議事録作成・老健の消防訓練の参加・年間研修予定表の作成・ケアプランの日付記載
		8 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価の結果報告や全てを運営推進会議で発表し、より良いサービスが出来る様に取組んでいる。	0	
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	季節毎の「めぐみホーム便り」を市役所に届けて、ホームの状況等を伝えたり、利用者のサービス向上の為に気軽に相談に乗ってもらっている。	0	
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	老健と合同の勉強会があったり、めぐみ会議でも勉強会を行った。入居時に説明を行っている。必要に応じパンフレット・資料等を用意している。	1	めぐみ会議時、これから定期的に勉強会を行って行きたい。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	理念に沿ったケアをしているので虐待はない。危険防止の為、ベット柵を利用する場合は、家族の了承を得ている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	文章・口頭で説明し、理解納得を得ている。不安・疑問点は、面会時・家族会時等いつでも早急に返答出来る様にしている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が不満や苦情を訴えられた時は、すぐ対策を考え、改善している。	0	
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の「めぐみ便り」(ユニット毎)でホーム全体の事を知らせ、又、利用者担当の職員より、個別に報告するコーナーも設けている。面会時には、近況報告や必要とあれば、カードックスの開示を行っている。	0	
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を各ユニットの玄関に設け、意見・不満・苦情を自由に書いてもらう様にしている。又、家族会を行うにあたって事前に利用者家族全員にアンケートを送り(無記名)、家族会・運営推進会議で意見を全員分発表した。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行われている会議の中で、情報交換、意見交換の場を設けている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要な時間帯に、職員を確保する為に勤務の調整に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新しく入ってくる職員には、半月から一ヶ月、サブで兼務についてもらい、入居者の方に十分に慣れ親しんで貰う様にしている。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	2	
	5	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用にあたっては、主任の意見も取り入れており、職員にはそれぞれの得意分野でホーム内の係りを担当してもらっている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	毎朝の申し送りの時にめぐみの理念、毎月定める接遇目標を皆で唱和して、入居者の方に対する思いやりの気持ちを確認している。	1	毎月のホーム内での研修でもテーマの一つとして取り入れていきたい。
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は計画表を作成し、職員が公平に参加出来る様にしている。又、毎月の会議の中で担当を決め研修発表をしている。	1	毎月の担当職員による研修発表をより充実させていきたい。
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会、Cブロックでの活動が活発になってきており、毎月各グループホーム担当で勉強会が行われている。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ストレスが溜まらぬよう、各々の休み希望に出来るだけ対応した勤務表を組むようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	外部の研修会等に積極的に参加し、知識や技術を吸収し、外からの刺激を受けることにより意識の向上に努めている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	4	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりとそ の対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	2	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時、本人から話を聴き受け止める努力はしているが、意思表示困難な利用者も多い。	1	家族からお話を聴くことは多いが、本人からしっかり聴くことが出来るのは入居後が多い。早い段階での聴取に努め信頼関係を築いていきたい。
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学时・契約時に、お話をよく聴く様にしている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期、家族との面会時、本人・家族の希望をしっかり聞きだし一番必要なサービスを、提供出来る様努力している。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に必ず、めぐみでの生活を家族と一緒に見学してもらい、本人が納得した上で入居して頂く様、家族の方に説明しお願いしている。	1	入居直後、本人が当ホームに慣れられるまで、家族の方に泊まってもらったり、就寝直前まで家族に付き添ってもらって、入居者本人が安心されるようにしている。
		2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	2	
2 係り 継続 これ まで の支 援の 関 係	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として、色々な話を尊敬の心で聞かせて頂いたり、知識や経験をめぐみ内で発揮してもらっている。(例えば、男性職員が料理の得意な利用者の方に教えてもらっている)	1	日常生活の中で一緒に出来る事をしてもらい、自信につなげてもらいたい。又、言葉遣いも、心の伝わる言葉かけを心掛けたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	色々な面で、家族の方の協力を得ている。例えば、病院受診付き添い・日常生活用品の補給など。又、ケアプラン作成の時には本人を支える為に、家族としっかり話し合ってたてている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の方に、めぐみの出入りを多くしてもらう様な機会作りを心掛けている。(家族会・敬老祝賀会・催し物の案内)又、本人と家族の方が一緒に写っている写真を飾っている。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族だけではなく、親戚・知人も多く出入りされている。又、お話相手をする時、馴染みの人や場所を会話内に入れてお話したり、ドライブでその場所に行ったりしている。	1	入居者の方が行きたいと言われる場所に可能な限りお連れしたいし、職員で無理な場合は、家族にお願いし支援していきたい。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気の合う利用者の方達を同席にしたり、レクリエーションや作業を一緒にしてもらい、共に完成の喜びを分かち合う様にしている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	病院に入院になった場合でも、常に見舞いに行ったり、家族にも心配事・相談事には、いつでも応じる事を伝えている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1~4 (自己 35~51・外部 17~22)				自己評価17項目・外部評価6項目	5	
1 一人ひとりの把握(自己 35~37・外部 17)				自己評価3項目・外部評価1項目	2	
1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや希望・意向等、日常生活の中で聞き出し把握するように努めている。又、本人にとって今何が必要なのか常に考えている。	1	その人らしい暮らしを続けられるよう、これからも本人の気持ちをしっかり聴く。又、自分から訴える事の出来ない方もいらっしゃるなので、職員は十分その方の事を考え、受け止めていきたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前は、家族からこれまでの生活歴や生活環境等を聞き、入居後は本人・家族から折にふれ話を詳しく聞かせてもらっている。	1	これからも家族面会時や家族を含めたカンファレンス時に生活習慣等を聞き、把握する様に努める。
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護記録・申し送りで現状を把握し、又、一人ひとりの性格や生活歴・心身の状態からその人にとって何が必要か考えている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ユニット職員全員でのカンファレンスを毎月1回行い、又、家族には、面会時や3ヶ月毎に介護計画書を渡す際、希望や想いをしっかり聞いている。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	通常3ヶ月に1回見直し、それ以前に状況が変われば、介護計画の見直しを、本人・家族を含め作成している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の日々の介護記録を確実に記入して、介護計画の見直しや作成時に役立てている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個別対応をしている。(外出・買い物・急変時の受診)	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	3	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的(2ヶ月に1回)に消防署と連携して訓練をしている。ボランティアのお話相手、保育園児や歌の慰問、運営推進会議に民生委員・地域包括支援センター職員等に参加してもらっている。	0	
	4		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	現在、利用している人はいないが、以前家族の希望で、サービス事業者を利用して通院介助をお願いしていた。	1	これからも必要に応じて行っていきたい。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの要請で要支援2の利用者の受入れをしたり、その時々状況に応じて協働している。	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	以前からのかかりつけ医に受診して頂いている。家族が往診を希望される場合は、して頂ける医院を当ホームで紹介している。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	入居時、かかりつけ医を持たない方には、認知症に詳しい医院を、当ホームで紹介したり、認知症が進まれた場合状態の報告や相談ののってもらっている。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常勤で看護職員が勤務している。又、地域の看護職と連絡を取り、常に利用者の健康状態を把握している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	認知症の為、病院側より、早期退院の相談があった場合には、直ぐに利用者の受入れを行っている。	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族会やカンファレンス時に家族の方に説明を行っているが、主治医との話し合いは、入居者全員が出来ているとはいえない。	1	病気の方は入院していただき、老衰の方は当ホームでと考えているが、主治医の協力や家族の協力がなかなか得られそうに無いのが実情である。充分な話し合いや準備が必要。取組んでいきたい。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	まだ、その様な事例はない。	1	今後に備えて、検討準備していきたい。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退去時には、現状を書面にして通知している。やむを得ず家族の都合で退去される場合には、本人に苦痛負担がかからない様に家族をお願いしている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	15	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	11	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	3		
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人の自尊心を傷つけない様に、言葉かけ・対応を行っている。又、カルテや介護計画書等の個人情報には、十分に注意して取り扱っている。	1	言葉掛けや対応の悪い職員がいたら、お互いに注意しあい介護の質の向上に努める。
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者を人生の大先輩、大切な家族の一員だと思う心で言葉掛けをして、本人の意志を尊重し、希望や思いを、可能な限り支援している。	1	自己決定、出来る場面を多く作っていきたい。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	可能な限りは心掛けているが、出来ている日と、業務におわれ出来ない日がある。	1	その人その人にあった一日を過ごして頂く様利用者のペースにあったケアを提供していきたい。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入居前から行きつけの美容室に家族が連れて行かれる利用者もいる。特に希望がなければ隣接する施設で毎週1回の理美容のサービスがある。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みを聞いたり、利用者の能力に応じて食事の準備や片づけを分担して行っている。	1	旬の物を取り入れ、季節を感じてもらう。これからも出来る事は手伝ってもらい、自信を持ってもらう様にする。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコを吸われる方はいない。酒は行事時に飲んでもらっている。本人が好まれる物(コーヒー・コーラー・牛乳・ジュース)は毎日、本人の希望に沿って出している。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンをつかむ為、記録を確実に رفتり、汚染の多い利用者は、トイレの周期をつかみ、その時間帯にあわせてトイレ誘導している。又、必要に応じポータブルトイレを使用したり、排泄後下清拭を行っている。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決められているが、(火・木・土)利用者の希望の順で入浴することは出来る。ゆっくり、のんびり入りたい方は、午前の最後や午後等に入浴している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中好きな時に、居室にて過ごされる様配慮している。夕方～夜にかけては、緑茶をカフェインの無い麦茶にするなど工夫している。夜間、居室に配るお茶も麦茶にしている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	4	
		61 外部 評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	レクリエーション、行事の他に、ドライブ・散歩・買い物等で気晴らしを行っている。又、花植え・花の水遣り・タオルたたみ等、その人が出来ることを把握して、生き生きと生活していただける様支援している。	1	その人らしい生活が継続できる様に、適切なアセスメントしてケアを行っている。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の能力に応じた対応をしている。金銭管理の出来る方には自分で所持、支払いをしてもらっている。金銭管理の困難な方については、職員が介助しながらなるべく本人に使っていただく様支援している。	1	買い物の支払いは、なるべく自分で支払ってもらう様に個別対応していきたい。
		63 外部 評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	可能な限り、本人の希望に沿って散歩・ドライブ・買い物に出かけている。日課の都合上、どうしても希望どおりに外出出来ない事もある。	1	個別対応をして、外出の機会を増やしていきたい。
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	春、秋のバスハイク。日曜日は2~3人でのドライブ。12月クリスマス時季のイルミネーション見学に夜間のドライブを行っている。又、地域の祭りなどに数名で参加される様に支援している。	1	利用者との会話の中で、「生家の隣に花畑があり、子供の頃から見ていた。」と話され、早速見学に行き、とても感激された。こういう機会をもっと増やして行きたい。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や本人の希望にそう様にしている。認知症が進み字を忘れられている方もあるが、電話なら話されるので、職員が見守りながら支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	笑顔で挨拶を心掛けている。お茶等を居室に持って行き、利用者が日々の会話の時思い出話等された事を、楽しくお伝えする。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	2	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束帯、拘束服などの身体拘束はしていない。	0		
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関に鍵をかけるという事は、行動範囲の拘束であるという事を職員全員が承知しているが、危険防止の為、又、家族からの要望もありやむなくかけている。居室の鍵は利用者の自由にしている。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーを害さない様にして安全の配慮、目配り、気配りは行っているが、居室内の配慮は限りがある。居室に入られている時は、特に気にかけて見に行く様にはしている。	1	レクリエーション、おやつの声掛け、夜間巡視等で、これからもプライバシーに配慮しながら、見守っていきたい。	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	完全に取り除くのではなく、危険である場合は、場所を変えるなどして様子を見ながら行っている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会・研修・避難訓練に取り組んでいる。リスクの高い利用者は、事故が無い様に、特に目配り、気配りを行っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを作成している。その都度確認し、話合っている。めぐみ会議時、勉強会を行っている。	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災の場合の避難訓練は消防署にも協力してもらい、定期的に(2ヶ月に1回)行っている。地震・水害などの災害時の対応については話合っている。	1	地域との協力体制を築く様に取り組んでいきたい。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	家族に対し、予測できる危険性については、説明を行っている。スタッフ間でも、対応策を話合っている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	1	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック、排便の有無、朝の申し送り等で、変化や異常があれば、家族にすぐ連絡を取り必要があれば、病院受診をお願いする。家族で無理な場合は、職員が受診に付き添う。	1	受診する必要がない程度なら、看護師、主治医に相談をし、指示をもらっている。
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	カルテに薬の説明書を保管している為、内容を把握する事が出来る。又、薬に変更があった場合は申し送りノートに書いて、全員が分かる様にしている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝排便の確認をし、水分補給や散歩・体操・食べ物に気を配っている。便秘や便秘傾向の人には主治医と相談して下剤を服用してもらっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝・夕食後、口腔ケアを行っている。一人ひとりに応じた口腔ケアを行っているが、自立した利用者には、声掛けのみである。入れ歯使用の方には入れ歯洗浄剤を使用している。食べ物のカスが無ないように口腔ケアは、徹底して行っている。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランス摂取カロリーを明確にする為、メニューは業者に依頼し、ホームで3食調理している。水分摂取には、特に気を配り、午前10時、入浴後、15時と水分補給をもらい、各居室にも、朝、夕、2回配茶している。それ以外でもお茶は自由に飲みたい時、自由に飲んでもらっている。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルを作成している。又、老健合同の勉強会で学ぶ機会がある。インフルエンザ流行時には、スタッフ・入居者全員予防接種を受けている。うがい、手洗いの励行にも努めている。	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	夕食後、布巾は熱湯に浸し、漂白剤で消毒を行っている。まな板は、肉・魚・野菜で使い分けしている。食器は食器乾燥機を使用している。食材は毎日、新鮮で安全な物を配達してもらっている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	4	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	3	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に季節の花や手作りの看板を置き利用者や家族の方に安心して出入りしていただけるようにしている。又、つまづきが無い様に手すり周りに花などを置いていない。	1	近隣の人にも親しみやすく、安心して出入りが出来るように工夫したいが、周りが田と交通量が多い道なので難しい。玄関周囲の工夫をして近隣の人にも親しみを持ってほしい。	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一日の大半を過ごされる居間・食堂・台所はゆったり、のんびり過ごせる様に配置している。食堂には、時季に合った作品を掲示し、又、居間に面したベランダには花や野菜を植えて季節を感じられるように配慮している。	1	隣のユニットのTVの音と、こちらのTVの音が入り混じり利用者を不快な気持ちにさせない様に、可能な限り配慮している。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者の方同士、同じテーブルに座り会話をを楽しむ事も出来るし、一人でゆっくりされたい時は、廊下や玄関横にベンチを置いているのでそこを利用される。	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで利用者が使用されていた物を持参して頂き安心して生活される方もいらっしゃるが、反対に不穏になられる方もおられるので、様子を見ながら個々の利用者の過ごしやすい居室作りをしている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝、窓を開け空気入れ替えを行ったり、毎日の掃除の際、それ以外でも空気入れ替えを行っている。気温の状況に応じてエアコンを使用している。	1	梅雨の時期、居室内に湿気があるので、湿気対策を常に考えていきたい。	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	1	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部に段差は無い。廊下・風呂場に手すりを付けている。車椅子対応のトイレにする為にドアを外してカーテンを付けたり、身長の高い利用者の為に便器を低い型に取り替えたり、その時どきで改修を行っている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	本人の意思を尊重しながら、その人の出来る役割を見つけ、自信が持てる様な声掛けを行っている。	1	居室の表札が、利用者の目線より高い所に設置しており、自分の居室が分かりづらいので、利用者に分かり易い目印を(表札)を考えていきたい。	
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関やベランダに出て、花の世話や水遣りを職員と一緒にされる。ベランダには、洗濯物や布団を干されたり、時には梅・白菜・吊るし柿等々と利用している。隣の老健の外周は散歩道になっており、ベンチも用意している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。